



京都府への立地を生かして発展する企業をご紹介します。

〈京田辺市〉

株式会社大阪サイレン製作所

<http://www.siren.co.jp/>

代表取締役社長 上岡 幹宜 氏

## 「ピーポー」サイレンの生みの親 ～緊急自動車用製品を全国へ～

緊急自動車用製品の製造を通じて、人命と財産を守る緊急活動に貢献する株式会社大阪サイレン製作所。道路アクセスの良い京田辺市の立地を活かして躍進する同社の代表取締役社長 上岡 幹宜 氏にお話を伺いました。

### どんな会社?

当社は1956年に東大阪市で会社を設立しました。緊急自動車用の警光灯、照明灯、電子サイレン、シャッター扉等の製造を主要事業としています。納入先は全国の消防車、救急車メーカーで、現在約6～7割のシェアをもっています。

### 京田辺市への立地

京田辺市に立地したのは1998年です。東大阪の工場が手狭になったことから、社員が通勤可能な範囲であることと、道路アクセスが良いことを条件に検討した結果、当地に京都工場を新設し、製造部門と技術部門を移転しました。その後2011年に京都工場の増設と合わせて、本社も当地に移し、全面的に移転しました。

本社機能の移転は一つの大きな転機となりました。全国への製品発送や営業活動を展開する上で、当地は非常に好条件で、新規の取引先も徐々に増加し、売上高は移転前の約10億円から約15億円へと伸ばしています。

従業員数も23名から41名に増加し、移転当初はいなかった京都府在住者が、今では約半数を占めるまでになっています。必要な人材が確保でき、全体の年齢構成も改善してきたのは、京都ジョブパークや京田辺市による支援をはじめ、地元高校生の工場見学やインターンシップを積極的に受け入れてきた成果だと考えています。

### 「ピーポー」サイレンの生みの親

今では当たり前となっている救急車の「ピーポー」サイレン。これを開発したのは当社です。元々、救急車のサイレンは、パトカーや消防車と同じ「ウー」音でした。1960年代に、先代の社長が視察地のフランスで耳にしたサイレン音を参考に開発を始め、テスト走行や国の検討を経て、1970年に全国の救急車のサイレンが「ピーポー」音に切り替わったのです。

サイレンは、その後も進化しており、今では、弱音量の「住宅モード」や、周囲の人を驚かせないための「フェードイン・アウト」など多彩な機能を備えています。また、車内騒音を軽減するアクティブ制御スピーカーもサイレン用として国内で唯一製品化し、多く採



営業用デモカー

用いただいています。

昨年11月には、救急車の外国語アナウンスの試験運行が行われました。これは外国人観光客の増加を受けて、京都市消防局と京都外国語大学とが連携して実施した全国初の取組で、当社のアナウンスシステムに英語、中国語、韓国語の音源を組み込み、通行人への注意喚起アナウンスをしたものです。新聞報道等を受けて他の自治体からの問い合わせも多く、反響も上々です。



企画・開発の様子

時代のニーズや現場の声を敏感に受け止める姿勢は、側面警光灯やシャッター扉の開発などにもつながり、製品の幅を広げてきました。顧客ニーズに迅速かつ細やかに対応できるのは、企画から開発、製造、試験までを一貫して行っている当社ならではの強みです。

### 創業88年、更なる飛躍に向けて

当社の製品開発においては、電気系はもちろん、自動車の規格など幅広い知識が必要となり、社員は日々研鑽を積んでいます。アクティブ制御スピーカー(前述)の製品化に当たっても、大手メーカーの技術支援のもと逆位相という音を打ち消す技術をサイレンのスピーカーに対応させて開発しました。連携や支援による技術をまとめ上げる力を活かして、今後は、自動車の仕様の変化に対応した製品の改良や、ドクターヘリに関連した製品開発なども進めていく計画です。

当社は「お客様にとって価値ある商品やサービスの提供により社会に貢献する」ことを経営理念としています。これからも、顧客からの要求・要望に応える改善、改良と新しい提案力をさらに向上させ、人命と財産を守る緊急活動に貢献し、未来の緊急車両開発の一翼を担ってまいります。

### Company Data

### 株式会社大阪サイレン製作所

- 代表取締役社長/上岡 幹宜
- 所在地/(本社・工場)〒610-0311 京田辺市草内操毛33-1
- 電話/0774-62-3333 ●ファクシミリ/0774-62-3300
- 創業/1929年 ●設立/1956年
- 資本金/2,340万円
- 従業員/41人
- 事業内容/緊急自動車用サイレン、警光灯、シャッター製造

### お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@kptc.jp